

平成 2 8 年

第 7 回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成28年第7回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項について報告します。

はじめに台風10号についてです。異例の進路を辿った台風10号は、8月30日の午後6時頃、岩手県大船渡市付近に上陸、東北地方の太平洋側や北海道に大きな被害をもたらし、31日の午前0時頃には温帯低気圧となって中国大陸へ抜けました。市は30日午前10時に仙北市災害警戒部を立ち上げ、最高レベルでの警戒態勢で対応をしました。

被害としては、上桧木内戸沢地区の国道105号で倒木事案が1件発生し、一時通行止めとなりました。しかし、すぐに処置し通行止めを解除することができました。

また、市内各地に避難所を開設した結果、台風の東北地方上陸前から3世帯4名の方々が3ヶ所に自主避難されました。この方々は30日の午後9時頃には全員帰宅しています。

今後も引き続き、市民や広域消防をはじめ防災関係機関と連携を密にとりながら、市の災害対応能力の向上に努めたいと思います。

次に、台湾トップセールスについてです。佐竹知事や県内11市町村長、青柳仙北市議会議長などと共に、8月22日から26日の5日間台湾を訪問しました。今回も秋田県と仙北市独自のミッションの二本立てでしたが、仙北市ミッションについて報告します。

先ず1点目は「アジア国際温泉サミット」です。これは台北市温泉発展協会の呼び掛けで、毎年日本各地の温泉地で開催していますが、来年度のサミット開催について、仙北市が開催地となる可能性の有無を協議しました。この協議には同協会の理事長や理事、また台北市政府産業発展局の副局長も同席をいただきました。開催については可能とのお話しでした。帰国後、市内の関係者に状況をお伝えしましたが、実行委員会等の設立など進捗状況を十分に見極め、今後も協議を継続したいと思います。

2点目は「高雄マラソンと田沢湖マラソンの交流」です。来年度は高雄市の澄清湖と田沢湖が姉妹湖協定締結30周年を迎えます。これを記念し両マラソンの交流を始めたいと、高雄市政府教育局と協議を行いました。好感触でした。高雄市との共同作業で姉妹マラソン化を進めます。3点目はその「澄清湖と田沢湖の姉妹湖協定30周年の記念事業」についてです。澄清湖を管理する台湾政府自来水公司との協議の中で、台湾側から関係者が仙北市を訪ねたいとの発言をいただきました。さっそく準備に取り掛かりたいと思います。またインバウンド対策について、台湾政府外交部亜東関係協会と懇談しました。特にスキー誘客については、田沢湖スキー場のスキー指導者に台湾の言葉を話せる人員が必要とのご指導をいただきました。帰国直後から、関係機関と実現に向けご相談を始めています。

次に、白岩大名行列についてです。

8月15日、白岩大名行列が18年ぶりに復活しました。私も行列のスタート地点に立ち会いをさせていただきましたが、地域の方々の結束に加え、県内各大学との交流の成果などで、地域の方がどんどん高まっていることを感じています。大変頼もしく、また嬉しく思っています。地域づくりは地元の熱意、そして外部の応援が何としても必要です。今回の白岩地域の皆様の取り組みを高く評価します。市民が主体となり、このような活動が市内全域に拡大できる環境づくりに努めます。

次に、芝浦電子系列会社の事業拡張についてです。

角館町中川地区で操業している株式会社角館芝浦電子から、事業拡張のため中川児童館用地の使用について要望があり、諸手続きを進めていましたが、中川児童館を10月1日付で廃止することとし、児童館を利用していた児童については、9月1日から中川小学校内の放課後児童クラブへ移行し、活動を始めています。今後、児童館の解体工事を行ったうえで当該用地の賃貸契約を締結することにな

りますが、冬季の雪捨て場や中川保育園の駐車スペースの確保等について会社側と協議することにしていきます。

また、生保内下高野地区で操業している株式会社東北芝浦電子から、このほど事業拡張に伴う駐車場用地として、隣接する市有地を賃貸により使用させてほしい旨の要望書の提出がありました。当該地は高野会館に隣接していることもあり、今後高野集落のご理解も得ながら、会社と協議を進めたいと思います。

この2社は、芝浦電子グループの系列会社で、製造している製品はそれぞれ違います。いずれも事業拡張に伴い、社員の採用を増やす予定と聞いていますので、市内の雇用増加につながるものと期待をしています。

次に、平成27年度の一般会計決算についてです。

歳入総額は191億8,590万1千円、歳出総額は186億305万5千円、歳入歳出差引額は5億8,284万6千円の黒字です。翌年度へ繰り越すべき財源総額3,731万円を差し引いた実質収支額は、5億4,553万6千円の黒字です。財政状況を示す各指標については、経常収支比率は91.7%で、昨年度との比較で0.5ポイント悪化したものの、経常一般財源比率は96.1%で1.3ポイント改善されました。また公債費比率は8.9%となり1.9ポイントの改善、公債費負担比率は17.4%で3ポイントの改善が叶いました。財政の健全化を判断する指標として、議会に報告し公表することになっている実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率については、公営企業の資金不足比率と併せ、監査委員による審査を経た後、本定例会で追加提出しお示しします。

次に、一般会計補正予算（第3号）についてです。

補正額は5億4,780万7千円で、これに既定予算を加えると、補正後の額は201億1,780万6千円となります。主な事業としては、社会保障・税番号制度システム整備費、教育・保育施設給

付費、浄化槽設置整備事業費、国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金、し尿処理場管理運営費、ごみ処理場管理運営費、花葉館施設整備事業費、中小企業活性化支援事業費補助金、みちのく三大桜名所プロモーション強化事業費（観光復興対策交付金）、インバウンド横軸連携受入整備事業費（観光復興対策交付金）、インバウンドサイクリングコース活用事業費（観光復興対策交付金）、温泉事業会計補助金、冬期交通対策費などです。地方債補正は変更です。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況等を報告します。

【総務部】

◇発注・契約担当者研修会の実施について

8月23日、田沢湖庁舎を会場に、公正取引委員会職員を講師にお招きし「発注・契約担当者研修会」を開催しました。工事や委託業務の発注・契約に携わる職員や管理職員を中心に50名の職員が受講しました。

研修会は、事業者による入札談合や、発注機関の職員が入札談合に関与する官製談合の発生を未然に防止するため、独占禁止法及び官製談合防止法の正しい知識を習得する目的で開催しました。

今後ともこうした研修会を通して、職員のコンプライアンス意識の向上を図っていきます。

◇地域総合整備資金（ふるさと融資）の申請について

一昨年から角館町横町で商業施設の整備事業を進めている株式会社町家ホテルから、当初の計画どおり第2期事業として宿泊施設を整備するため、地域総合整備資金の申込みがありました。

事業名は「観光ホテル建設事業」、事業総額は4億700万円、うち借入希望額は1億6,800万円です。建設予定の施設は鉄骨3階建て、建築面積382.81平方メートル、延床面積は1,0

75.91平方メートルで、客室数は40室、内訳はツイン23室、ダブル12室（うち6室はシングルユース）、シングル5室、収容人員は69人です。稼働予定日は平成29年4月1日となっています。稼働時の雇用人数は5人の予定です。

今後、ふるさと財団の審査が順調に進めば、12月補正予算への計上となる見込みです。

◇統合庁舎建設用地の用地交渉について

7月8日の臨時議会で補正予算をご可決いただいたことで、7月19日から有限会社中央市場を訪問し、本格的に仮契約に向けた交渉に着手しました。交渉で仮契約を締結するに当たり契約書案を市から提示し、その記載内容について確認しています。

特に、特約事項として記載している「市役所の位置を定める条例の一部改正議案」、「議会の議決に付すべき契約及び財産又は処分に関する条例第3条に規定する財産取得議案」の両議案の可決が、本契約となる条件であることなどをしっかりと説明しています。

その後、8月4日には価格交渉に入り、8月10日には再度の交渉を行い仮契約を締結しています。金額は土地代金として2億4,999万6,751円、移転補償費として4,150万円、合計で2億9,149万6,751円です。土地の1平方メートル当たりの平均単価は19,784円です。

◇男女共同参画社会づくり関連事業について

7月15日、田沢湖総合開発センターで、群馬県立女子大学の佐々木尚毅教授と、男女共同参画あきたF・F推進員の佐々木美奈子氏を講師にお迎えし、「超少子化社会が問う地域の未来～明日を生き抜く逆転の発想～」と題した基礎講座を開催しました。

講座は、職員が研修を兼ねて聴講するとともに、市議会議員の皆様、市民の皆様、県内各地から約70人に聴講いただきました。

また、市内にお住まいの方から無為で抽出した1,600人と、

市内事業主の方々に対し、女性の活躍推進アンケート調査を実施しました。

調査内容は、女性が職業を持つことの意識や育児・介護・昇進・男性の働き方について意見を伺うものとなっています。寄せられた回答は現在集計中です。結果は11月初旬に開催予定の女性の活躍推進交流会（仮称）で報告したいと思います。

◇田沢湖クニマス未来館（仮称）新築工事について

実施設計の瑕疵が原因で、入札公告ができない状態となっていたクニマス未来館（仮称）新築工事については、株式会社渡辺佐文建築設計事務所から設計の違算によって生じた「遅延に伴う費用の弁償その他について、市の損害に充当する費用を支払うことを誓約する」との申し入れや、その後の双方の協議で、8月26日付けで損害賠償に関する覚書を交わしました。施設のオープンが遅れることで生じる遅延損害金などのほか、実施設計委託料相当額及び設計の変更に係る工事費相当額の損害賠償を条件に合意したものです。

この結果、施設の面積は若干減少するものの、機能的には当初設計を損なうことなく整備できる見込みが立ちました。今後速やかに建築工事の入札手続きに入り、入札結果を踏まえた請負契約の締結議案を追加提案させていただきたいと考えています。

議会をはじめ関係の皆様には、大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

◇「イニシアチブNipponプロジェクト地域意見交換会in秋田」について

7月16日、サンルーラル大潟を会場に、「一般財団法人・未来を創る財団」の主催で、定住外国人の受入れビジョンや適切な対応・方策をテーマに提言・議論を行いました。この意見交換会を共催した大潟村からは11人、仙北市からは26人が出席し、日頃感じている課題や要望など闊達な意見を交わしました。

仙北市からは、仙北市が目指す将来像である「小さな国際文化都市」の実現のためには、単に不足する労働力を外国人から提供いただくという考え方ではなく、「外国人が市内への定住者・生活者となる視点を持ち、行政も地域も受入環境を充実することが大事」と提言しました。私は人口減少対策としても、本質的な部分を掘り起こした移民政策の議論が必要と考えています。

◇「路面性状モニタリング実証実験コンソーシアム」について

7月20日、国土交通省・秋田県・仙北市・リコー ICT 研究所による「路面性状モニタリング実証実験コンソーシアム」を立ち上げました。

同研究所は、去る5月に仙北市内で特殊なカメラで道路のひび割れなどの性状調査を行い、これをデータ化し、システム構築をするデモ実験を行っています。今回のコンソーシアムの立ち上げで、国道や県道などの各管理機関が協働し、効率的な道路の管理手法の確立や客観的な判断材料となる基準データ化を図ることが可能となりました。凍上災などの事業採択時にも有効活用が期待できます。仙北市が、新しい技術の開発拠点となり得る第一歩だと感じています。

◇ドローンによる、ほ場等の空撮について

7月22日、秋田県の「農林水産業おたすけドローン実証事業」で、西木地区の1.5ヘクタール程度の水稻ほ場、また市営の大覚野牧場内10アール程度の草地でドローンを活用した空撮が始まっています。

水稻の生育状況を把握し、玄米タンパク質の推定や生育診断による追肥判定など、良食味生産に活かすことができるかどうか、また草地では牧草の生育確認や草種判別に応用できるかどうかなど、農業分野におけるドローン活用について検証中です。

◇地方創生加速化交付金事業について

市民参画によるドローンのまちづくりや、産業育成拠点の環境整備に向けて取り組む事業として、4つの事業を同時進行しています。

7月末に開催されたドローン競技会は、7月29日に角館交流センターで「地方創生シンポジウム」を開催し、200人を超えるご来場をいただきました。東光鉄工株式会社の鳥潟與明氏による「秋田産ドローン、その魅力と可能性」の講演、また内閣府地方創生推進事務局審議官の藤原豊氏をコーディネーターにお迎えしてのパネルディスカッション「近未来技術が拓く田舎の未来」など、大変充実した事業となりました。農業分野で活躍する多くの方々、また建設関係者・測量関係者などの皆様から、ドローンの魅力と利便性について期待を寄せる感想が届いています。一方で若者を中心に特区の利を活かした環境下で、産業と経済活動に取り組むことの必要性を痛感しています。

また、ホテル森の風田沢湖のグラウンド・ゴルフ場で開催した「ドローンスクール」には、市内外から小学生60人、父兄もあわせると200人程度の関係者に参加をいただきました。

30日～31日に開催した「ドローン競技会」は、猛暑の中、アジア諸国の参加者も含め、50人の選手が5種目で競い合いました。両日で約1,700人の入り込みがありました。しかし国内初の国際競技会だったこともあり、運営や進行の遅れが目立ちました。ご協力をいただいた関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

なお、同交付金事業は、他に「ドローン産業振興に係る協議会設立と計画策定・運営」、「ドローンの技術習得と浸透させるための操縦士育成講座とドローンの購入」、「トップランナーによる講演と研修プログラム」の3事業があります。適切に事業を遂行します。

◇企業版ふるさと納税について

6月に申請した「桜に彩られたまちづくり計画」が、平成28年度第1回の対象事業として、国から認定をいただきました。同事業

は、4月に「サクラの保全活動に関する協定書」を締結したインフォテリア株式会社（東京都）より寄附のご提案をいただき、企業版ふるさと納税の認定第1号を目指し準備を進めてきたものです。今後とも桜の保全や桜を題材とした交流事業を加速し、企業の皆様が寄附をしたくなるような魅力のある事業を提示し、仙北市の掲げる「小さな国際文化都市」を具現化する作業を本格化します。

◇地方創生に関する銀行の包括連携協定について

昨日9月1日付けで、仙北市指定金融機関の株式会社秋田銀行が、株式会社三菱東京UFJ銀行と「地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。同協定は、各社が保有する豊富な知見とネットワークを融合させて、秋田の地方創生全般を支援し、地域経済発展に寄与することを目的としています。

仙北市の「近未来技術実証特区」等を活用し、新産業の創出がテーマの一つとなっています。大変にありがたい取り組みです。この度の包括連携協定をテコに、新たな産業創出と企業誘致、移住・定住対策などの取り組みを、連携して加速したいと考えています。

◇秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会について

7月16日、雄物川河川緑地公園で秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会が開催されました。

当日は、2市1町の訓練大会で勝ち上がった上位チーム小型ポンプ操法14隊、規律訓練14隊が競い合いました。仙北市からはそれぞれに3隊が出場し、小型ポンプ操法では4分団2班が3位、4分団3班が4位、8分団2班が5位に入賞、また4分団2班の齋藤弥稔さんが2番員として個人賞を受賞、また規律訓練は8分団が準優勝、10分団が8位、6分団が10位と、各訓練種目とも優勝こそ逃しましたが、それぞれ好成績を挙げていただきました。

◇山岳救助について

7月17日午後6時頃、朝日岳山頂を目指した青森県などの男女9人のグループから、男性1人と女性1人が負傷し、救助を求める連絡が岩手盛岡消防署を通じて仙北警察署へ入りました。

翌18日の早朝より、仙北警察署・大曲仙北広域市町村圏組合消防本部及び角館消防署・仙北市総合防災課職員等が入山地点に現地対策本部を設置、県警へリ「やまどり」、県防災へリ「なまはげ」などの協力もいただきながら、救助活動を行いました。9人のグループのうち5人は、同日の夕刻ケガ無く無事に入山地点へ戻り、動けなくなった負傷者2人と付き添いで残った2人の女性は、20日に両へりにより救助されました。

また、8月28日午後11時20分頃、仙台市の男性49歳が駒ヶ岳阿弥陀池地内において道に迷い、救助を求める連絡が市内の旅館を通じて仙北警察署へ入りました。翌29日6時15分、警察・消防・市職員が入山したところ、6時26分に片倉展望台で遭難者と接触、意識もはっきりしていて外傷もなく自力下山しました。

◇抱返り溪谷転落事故について

7月31日午後2時20分頃、抱返り溪谷の遊歩道で転落事故があり、鹿角市の75歳男性が亡くなりました。

男性は1メートル強の柵から身を乗り出し、何らかの弾みで約7～8メートルの崖下へ転落したものとみられています。

通報で出動した角館消防署員等が男性を遊歩道まで引き上げるとともに、白岩小学校グラウンドで待機していたドクターへリへ搬送し、医師が救急車内で応急処置を施しましたが、容体が急変し心肺停止状態に陥り、搬送先の角館総合病院で死亡が確認されました。

◇山岳遭難合同訓練について

8月9日、仙北警察署・大曲消防本部及び角館消防署、仙北市総合防災課の3者連携で山岳遭難合同訓練を実施しました。訓練会場

は田沢湖スキー場黒森山で、現場本部訓練から航空隊による吊り上げ訓練を実施しました。

7月31日、8月11日の2日間は、仙北警察署との連携で、秋田駒ヶ岳の登山者へ安全意識の高揚と事故・被害抑止を図る目的で、夏山登山安全啓発活動を実施しました。

また、9月2日8時30分より、仙北市・仙北警察署・大曲市町村圏組合角館消防署、3者合同による遭難多発地帯踏査訓練を乳頭山田代平区域で実施しています。

これは、救助隊員が地形を把握することで迅速安全な捜索活動に役立てることと、各機関の装備品等の確認及び操作の習熟が目的です。

今後も3者連携の強化を図り、地域の安心安全に努めます。

◇火災の発生について

8月29日16時25分頃、田沢湖梅沢地区で火災が発生しました。延焼面積は0.08平方メートルで住家の床下換気口の火災です。

【市民福祉部】

◇B型肝炎ワクチンの定期接種化について

予防接種法施行令が一部改正され、10月1日からB型肝炎が定期予防接種の対象疾病となります。対象者は平成28年4月1日以降に生まれた0歳児で、1歳になる前に3回の接種を終える必要があります。

今後は広報への掲載や対象者個々に通知でのお知らせ、赤ちゃん訪問時にリーフレットでの説明などで周知徹底を図ります。

【観光商工部】

◇観光大使の任命について

8月6日、田沢湖ハーブガーデン・ハートハーブを会場に、9人

目の観光大使として青山学院大学副学長の橋本修氏を任命しました。橋本氏は旧角館町山根町出身で63歳、学内外に広いネットワークをお持ちで、これらの人脈を活かした仙北市の魅力紹介等の誘客活動、観光振興を基軸としたまちづくりへの提言、また青山学院大学と仙北市の包括連携協定の橋渡し役もお願いしています。

◇それぞれの夏祭りの開催状況について

8月6日に開催されたたざわ湖龍神まつりは、観光入込み数の増加対策で、初めて秋田市の竿灯祭りに合わせて開催しました。好天に恵まれたことも幸いし、昨年との倍の1万人の皆様で賑わいました。例年、担ぎ手不足で難儀していた双龍の出会いの場面は、秋田大学留学生等の皆様、市役所の若手職員の参加などで、総勢73人で行うことができました。

8月15日は、角館の送り盆行事・ささら舞が開催されました。昼の部、樺細工伝承館前広場での広久内ささら・居合術は、多くの観光客の皆様楽しんでいただきました。しかし夜の部は雨となり、仙北市角館中心市街地活性化支援センター「かつらぎ」に会場を変えての実施でした。それでも午後8時過ぎには天候が回復し、立町ポケットパークに戻ってささら舞を披露いただきました。人数的には減少しましたが、ご覧になった方々には、お盆行事を十分ご堪能いただけたと思います。

8月17日は戸沢氏祭りでした。台風の影響で、お家行列は中止となりましたが、ステージ発表と花火大会は、予定通り開催でき、多くの皆様に行く夏の風物詩を味わっていただけたと思います。

◇角館祭りのやま行事の実施体制について

9月7日～9日に行われる角館のお祭りは、新しい組織を立ち上げ、実行委員会・責任者会議・お祭り保存会・張番協議会・観光協会・商工会・警察・消防との協議を重ね、安全を第一に準備を進めています。特に今年から実行委員会の内部に安全委員会が立ち上が

っています。市長は実行委員会の顧問という立場で、また市役所は各セクションが実行委員会に参加しています。これまで以上に連携し、市としての責任を全うします。また各種団体から協力をいただきながら、万全の体制でお祭りに臨みます。

◇秋田発・子どもふるさと交流推進事業について

8月5日から7日までの3日間、宮城県女川町立女川小学校の女子ミニバスケットボールチーム10人が仙北市に滞在し、神代小学校や白岩小学校のミニバスケットボールチームとスポーツ交流を行いました。これは双方の地域の子ども達や地域の方々が、交流を通じて他地域の文化に触れ、相互理解を深めることを目的とした県事業で、仙北市農山村体験推進協議会が主催したものです。今回で5回目の開催です。今年は乳頭温泉郷でのブナ森ハイキングや田沢湖でのカヌー体験を加えてのスポーツ交流でしたが、今後も多彩な交流活動のメニューを提供し活動を支援したいと考えています。

◇アセアン次官級会合の受入について

7月25日、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟10カ国の交通分野の連携促進を目的に、各国政府次官級要人とその関係者一行50人が仙北市を訪ねてくれました。翌26日に予定されていた第14回アセアン次官級交通政策会議に出席するため秋田県入りしたもので、仙北市では内陸縦貫鉄道の車両内で秋田県歓迎レセプションを行ったほか、田沢湖や武家屋敷を訪問し視察を行いました。本会合は毎年日本で行われていますが、東北では初めての開催でした。その最初の視察地に仙北市が選ばれ、田沢湖・角館・西木など全ての地域をご覧いただけたことを、大変嬉しく思っています。

◇仙北市産業振興推進委員会について

7月27日、仙北市産業振興推進委員会を開催し、第2次総合計画の主要な産業振興事業を説明し、ご意見・ご提言を承りました。

また株式会社町家ホテル（角館町七日町1番地1）から申請のあった企業立地促進条例に基づく仙北市奨励事業者の指定について諮問し、これをご承認いただきました。

また当日の会議では、今後の委員会運営のあり方について協議しました。各委員からは、市政発展の基礎となる産業振興に向け委員会の議論が今後の施策に反映できるよう、また一定のテーマを定め、経済の指標や動向等をしっかりと見据えて議論をしたい等、積極的な意見をいただくことができました。これを受け、今定例会に今後の委員会の開催経費に係る補正予算を計上しています。ご審議のほどよろしく申し上げます。

◇司食品工業への対応と企業誘致について

株式会社司食品工業の工場誘致に係る今後の市の対応・対策等については、9月定例会を目途に市として最終的な方針を明らかにしたい旨、6月定例会中の一般質問でご答弁しました。

市はこれまで、法的措置を講ずることも視野に、誘致活動の経緯、双方の対応や市の支出経費等の精査分析を慎重に行ってきました。一方で、市として最も優先して取り組むべき事項は、造成済みの工業用地の有効活用、雇用創出と市民経済の向上に資する新たな企業の進出を実現することと考え、継続して県や関係機関のご支援のもと、新規の企業誘致活動に取り組んできました。

その結果、東京に本社を置く東証一部上場企業で、デバイス事業や環境エネルギー事業などを展開している会社から、当該用地の活用に高い関心を持っていただく環境が整い、7月には私と副市長が本社を訪問し、市の概要等をご説明申し上げたほか、8月には企業側から2回にわたって現地視察のご訪問をいただきました。現在は進出に向けた諸条件に関する具体的な協議に入る直前の段階です。詳細のご説明は今しばらく時間をいただきたいと思います。

このタイミングで、当該用地をめぐる事案に係争に持ち込むことは、今後の企業誘致にプラスにならないと考えています。従って現

状下での提訴は見送りたいと思います。

【農林部】

◇水稲の生育状況について

28年産の水稲生育状況は、田植え以降が比較的好天で推移したことから順調に生育し、平年並みの8月3日に収穫期を迎えました。8月19日現在、管内の定点調査の結果では穂数・着粒数とも平年をわずかに下回る程度で、今のところ平年並みの作柄です。

収穫期以降は高温の日が続き、斑点米カメムシ類の活動が活発になると予想があり、8月8日と8月22日に注意報が出されました。JAや関係機関等と連携し、適期防除の啓発活動に務めています。

◇第10回大仙・仙北・美郷畜産共進会について

7月12日、大仙市のささくら公園を会場に開催された「大仙・仙北・美郷畜産共進会」で、本市からは肉用牛の部6部門へ15頭を出品しました。

その結果、第1部1類で佐藤操さん（西木町）の「第86うるしばら号」が優等賞並びに秋田県知事賞を獲得し、第1部6類で相馬勲さん（角館町）の「におう272号」が優等賞を獲得しました。

「におう272号」は、8月21日に由利本荘市のあきた総合家畜市場で開催された「第11回全国和牛能力共進会秋田県出品対策共進会」に、市内の農家や大仙市の農家の牛と4頭1群の区分へ出品し、優等賞を獲得しています。来年9月に宮城県で開催される「全国和牛能力共進会」にも、秋田県代表として出品されるものと期待しています。

◇熊による人身被害について

去る8月10日、市内で農作業中の男性が熊に襲われ大けがを負う被害が発生しました。厳重な警戒が必要として、ただちに鳥獣被害対策実施隊へ現場周辺の巡回要請をし、併せて市民への注意喚起

・ 出没情報の周知を図ったところです。

今年、熊の人里への出没が多く、8月末までに昨年度の倍にあたる112件の目撃情報が寄せられ、鳥獣被害対策実施隊による熊の捕獲も既に昨年度の倍の23頭となっています。

この秋は、山の木の実やブナの実等が不作と聞きます。熊は餌を求め人里への出没がさらに多くなることが予想され、被害防止のため、11月の猟期開始まで関係機関と連携を密に警戒を強化します。

このため、鳥獣被害対策実施隊等に係る費用について、本定例会に補正予算を計上しています。ご審議のほどよろしくお願ひします。

【建設部】

◇都市計画道路岩瀬北野線整備事業について

都市計画道路岩瀬北野線整備事業は、平成28年度完成予定でしたが、国からの交付金が要望額の67.7%で、事業費が不足している現状です。

国の大型補正も想定されることから、早期完成に向けた最終予算の確保のため、8月1日、国土交通省都市局長・国土交通省東北地方整備局長へ再度の要望活動を行いました。

【医療局】

◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業の本体工事進捗状況は、全てのコンクリート工事が終了し、内部仕上げ工事に取りかかっています。進捗率は8月末現在で74%です。

新病院開院時期は平成29年4月初めとし、現在は電子カルテを中心とした病院情報システム、医療機器の整備や各種手続きなど、開院に向け準備を鋭意進めています。

◇市立角館総合病院の病棟機能について

平成28年4月の診療報酬改定の影響について、改定の内容を踏

まえ影響調査を進めてきましたが、このままでは算定要件を満たせない可能性があり、7対1入院基本料維持のため、平成28年9月より一部病棟を回復期リハビリテーション病棟に移行しています。今後も急性期医療を中心に、地域から求められる役割・機能をしつかりと受け止め、その責務を全うする覚悟です。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げましたが、本定例会に提案している案件は、報告関係1件、条例関係1件、予算関係6件、決算認定関係15件の計23件です。

どうか慎重審議の上、全議案についてご可決賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。